

平成24年度第1回座間市防災会議 会議録

議 題	<p>1 座間市地域防災計画の修正素案について</p> <p>2 座間市地域防災計画今後のスケジュールについて</p> <p>3 座間市防災会議条例の一部改正について</p>
日 時	平成25年1月17日（木）午前9時30分～11時
開催場所	座間市役所6階 全員協議会室
出席者	会長（市長） 委員（30名）
欠席者	1名
決議事項	座間市地域防災計画の修正素案が承認された。
議 事	<p>事務局から「ざま災害ボランティアネットワーク」濱田代表、「座間市立野台地区女性消防隊」今井隊長、「座間市地域婦人連絡協議会」川島会長、金子教育長、林消防長に座間市防災会議委員の委嘱が行われたことが報告された。</p> <p>職務代理者として、「座間市防災会議条例第3条第4項」に基づき、小俣委員（副市長）が指名され、承認された。</p> <p>議題</p> <p>(1) 座間市地域防災計画の修正素案について</p> <p>修正素案の内容について審議が行われ、修正素案が承認された。</p> <p>[質疑応答]</p> <p>○委員 みなし避難所について、自治会館は何処も古く、耐震化されていない。</p> <p>事務局 みなし避難所については、避難者の受入れが可能と判断される施設について把握し、登録をおこなうものです。</p> <p>○委員 自治会による要援護者に対する避難支援と情報連携を強化とあるが、今後どのようなスケジュールか。</p> <p>事務局 災害時要援護者支援協議会の中で、今後検討されてまいります。</p> <p>○委員 東日本大震災では、り災証明の発行が遅れたため、自立も遅れている。また、BCPを取り入れることに伴い、職員を固定化し、在職中はその業務に当たることが望ましい。</p>

事務局 り災証明については、この証明発行に伴い生活再建や税金の減免関係などにも影響するので、被災者生活再建支援システムなどを構築しながら、迅速な対応を図ってまいりたい。

職員の固定化については、様々な理由で異動もあり、また退職者も出ることなどから、難しいと考えます。

○委員 自主防災組織は、単一での活動は厳しいものがある。

事務局 防災推進員が定着すれば横の連携も取れてくると考えるが効果的な組織の育成についても検討していきたい。

○委員 総合防災訓練については、従来の動員型でなく、秦野市のメニュー方式を提案したい。

事務局 現在の訓練は、関係機関との連携訓練であるが、これも重要な訓練と考えている。秦野方式については、研究していきたい。

○委員 防災教育については、しっかり授業の中で教育してほしい。

○委員 平塚市は、要援護者対策として福祉まちづくりの中で介護施設等で災害時に中学生が手伝えることは無いかの取り組みをしている。出来る部分での取り組みが実施できないか。

委員（教育長） 学習指導要領により進めております。

○委員 二次避難所について、高齢者や障害者を公民館等に受入れる場合は施設整備が必要となるので、それらの専門施設、特養施設や生涯施設と協定を結び連携できないか。

事務局 現在、特養施設、障害者施設との協定は締結しておりますが専門施設の指定などを検討してまいりたい。

## (2) 座間市地域防災計画今後のスケジュールについて

事務局から資料2のスケジュール表をもとに、今後、パブリックコメントの実施、第2回防災会議の開催、県への報告などが予定されている旨説明があった。

## (3) 座間市防災会議条例の一部改正について

事務局から災害対策基本法の一部改正に伴う条例の一部改正（平成24年9月3日条例第20号）について、資料3の新旧対照表をもとに説明があった。

<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 平成 24 年度座間市防災会議出席者名簿</li> <li>・ 席次表</li> <li>・ 座間市防災会議条例</li> <li>・ 座間市防災会議運営規定</li> <li>・ 資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 座間市地域防災計画修正素案</li> <li>2 座間市地域防災計画修正スケジュール</li> <li>3 座間市防災会議条例の一部改正</li> </ul> </li> <li>・ シェイクアウトチラシ</li> </ul>
<p>その他事項</p>	<p>事務局から平成 25 年 1 月 23 日（水）実施予定の「座間市いっせい防災行動訓練 Shake Out 2013 in ZAMA」について、実施趣旨や訓練内容の説明があった。</p>